

Rockustics®

ULTRA-FIDELITY OUTDOOR SPEAKERS



ROCK SPEAKERS

設置マニュアル

Rockustics® Rockスピーカーを取り付ける前に、以下の指示をよくお読みください。
設置に関してご質問がある場合は、オーディオオーディオブレインズにお問い合わせください。

基本接続

(図A) 岩の下側にあるスピーカーケーブルを見つけます。
必要に応じて、ケーブルの端を剥ぎ取り、適切な長さに切断します。
付属のシリコンワイヤナットを使用して、スピーカーのプラス（赤）と入力を接続します。
マイナス（黒）でこの手順を繰り返します。
Rockusticsは、アンプとスピーカーの接続にAWG14以上の直接埋設ケーブルを使用することを推奨しています。

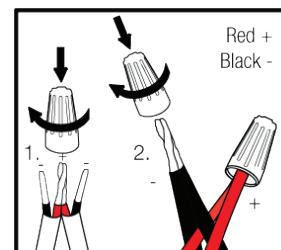


Diagram A

注：付属のワイヤーナットは、恒久的な取り付け専用です。
スピーカーを一時的に配線する場合は、これらのワイヤーナットを使用しないでください。
ワイヤーナットを使用し、システムを再配線する必要がある場合は、ナットを緩めないでください。
代わりに、ナットの下にケーブルをクリップし、防水ワイヤナットの新しいペアを使用して基本配線セクションの手順に従います。

最高のサウンドを得るためのスピーカー配置の最適化

すべてのRockusticsスピーカーは、高いSPL（音圧レベル）を生成できます。
最大音響性能は、スピーカーの配置を決定する上で重要な要素です。これを実現する方法は次のとおりです。

- 1) 最も可能性の高い、または平均的なリスニングポジションがどこにあるかを確立します。
- 2) スピーカーは、そのポイントから同じ距離またはその近くに配置する必要があります。
- 3) リスニング位置とスピーカーの位置との間の実際の距離は重要ではありません。
ただし、リスニングエリアとスピーカーの間の距離が長くなると、知覚される音量が著しく減少することに注意してください。
- 4) アンプの電力がスピーカーの電力定格と一致していることを確認してください。
スピーカーを過度に運転すると、保証対象外の恒久的な損傷につながる可能性があります。

スピーカーの配置による外観の最適化

すべてのRockustics製品は、植物やその他の造園機能の近くに配置できるように、高周波応答が向上するように設計されています。茂みや灌木の近くにカモフラージュされた、あなたの造園内に製品を自由に配置してください。
Rockustics製品は、周囲の自然の美学に溶け込むように努めています。

スピーカーからステレオまたはオーディオソースまでの配線を考慮してください。
可能であれば、地表から3cm下にケーブルを配線してカモフラージュします。

注意とメンテナンス

すべてのRockusticsスピーカーは密閉されており、完全に耐候性があります。
ただし、スプリンクラーの付近にスピーカーを配置しないでください。
スプリンクラーは水圧レベルが高いため、直撃するとスピーカーコーンが損傷する可能性があります。

スピーカーグリルが配置されているプランターの壺と土台の間に、土や木材の破片を置かないでください。
グリルに土がたまると、スピーカーが損傷することがあります。
土が溜まっていると、不要な虫がスピーカーに侵入することもあります。
化学スプレーはスピーカーのゴムにも損傷を与える可能性があります。
これには、防虫スプレー、デッキシーラント、いくつかの肥料、そして油性製品が含まれます。
設置場所にこれらの処理や化学薬品を塗るときは、スピーカーを適切な部材で覆ってください。

雪や氷が降る環境では、再生する前に開口部とウーファーが乾燥してて、固い雪や氷が付着していないことを確認してください。
コーンに氷や雪がある場合は、ドライヤーなどを使用して溶かします。
冬季にスピーカーを使用しない場合は、スピーカーを取り外して屋内に置くか、ビニール袋で覆うことをお勧めします。

70V/100Vアプリケーション用の配線

トランス内蔵スピーカーの場合は、図Cを使用して希望のタップ設定に適したケーブルを見つけます。
目的のタップ設定が決めたら、腐食を最小限に抑えるために未使用のケーブルを使用してください。
湿度の高い環境では、保護を強化するためにケーブルの端にシリコンを塗ることをお勧めします。

デジーチェーン接続する場合は、「基本的な配線」の項で説明されているような配線方法に従ってください。
70Vおよび100Vアプリケーション用の標準的なデジーチェーン配線システムについては、図Eを確認してください。
図Dに示すように、必ずチェーン内の次のスピーカーに接続するワイヤを接続します。
各スピーカーには3ペアのケーブルが必要ですが、チェーン内の最後のスピーカーには2ペアしかありません。
極性の標準プロトコルに従い、すべてのユニットが同じ極性で配線されていることを確認してください。

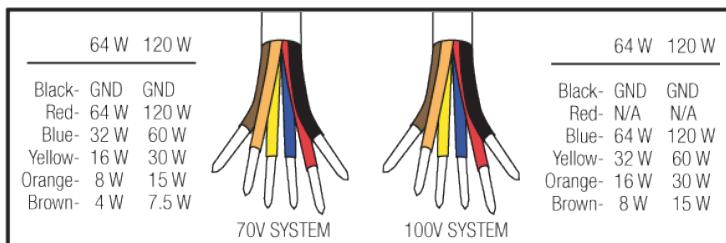


図 C

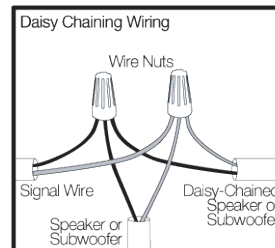


図 D

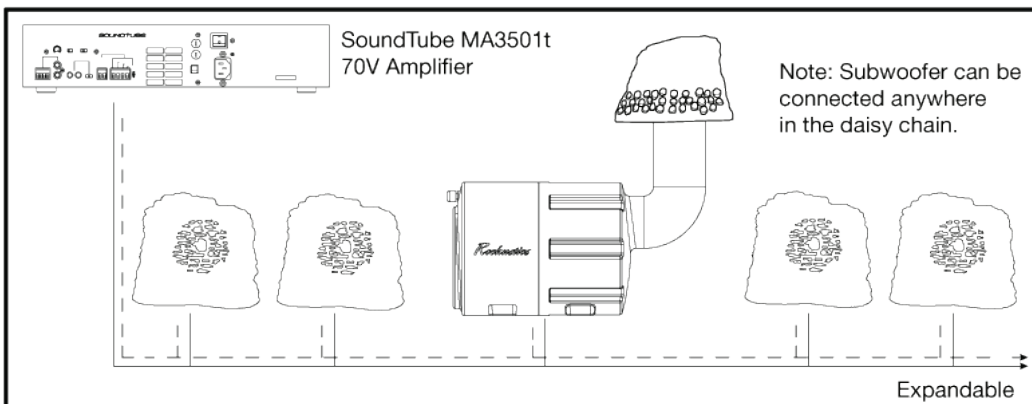


図 E

Applicable Models

PunkRock™

PunkRock™ Transformer

EconoRock™

EconoRock™ Transformer

Pavarocci™

Pavarocci™ Transformer

OctoRock™

OctoRock™ Transformer

Rocky Jr.™

Rocky Jr.™ Transformer

StoneHenge™ II

StoneHenge™ II Transformer

SurroundStone™ 8

SurroundStone™ 8 Transformer